

1. 件名：福島第一原子力発電所におけるサブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に係る面談
2. 日時：令和3年3月5日（金）13時30分～14時45分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
市森係員
知見主任安全審査官、伊藤係長（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、サブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に関して、主に資料に基づき説明があった。

- サブドレン・地下水ドレンの稼働概要、水位変動
- サブドレン及び地下水ドレン（ウェルポイントも含む）汲み上げ量
- サブドレン・地下水ドレンの水質
- 地下水ドレン中継タンクの水質
- 2月13日の福島県沖地震発生後の状況
 - ✓ 地震発生後においても、サブドレン水位は建屋滞留水水位を上回っている状態である。
 - ✓ 地震発生前後で水質を比較可能な13箇所のサブドレンピットのうち、水質が大きく変化した2箇所については今後も注視していく。
 - ✓ 地下水ドレンポンドC及びDにおいても水質に変化が見られており、今後も注視していく。

○原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、福島県沖地震発生後のサブドレン水質確認に係る対応とその考え方について整理して説明するとともに、水質のトレンドデータを示すことを求めた。

6. その他

- ・資料：
 - サブドレン稼働状況について
 - 地下水ドレンの稼働状況について